

名古屋大学附属図書館友の会
第54回トークサロンふみよむゆふべ

無料, 申込不要
一般の方も大歓迎!

人生何周目 後藤新平 国家を治療する医者

語り 山内 一信氏 (名古屋大学名誉教授)

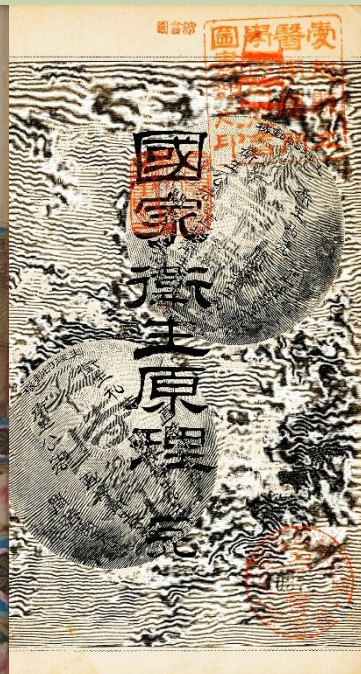
2026/6/26(金)18:00~19:30 名大中央図書館2階



後藤新平とローレツ
1880年



明治初年愛知県公立病院外科手術の図 1880年



後藤新平『国家衛生原理』
1898年

名古屋大学附属図書館医学部分館所蔵、「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/history/>にて画像公開

岩手県に生まれ、福島県で医学を学んだ後藤新平は、「小成に安んずるべきではなく、大都会への遊学の念が少時も止まず」、名古屋大学の前身である愛知県病院の当直医となりました。愛知県病院・医学校ではオーストリア人医師アルブレヒト・フォン・ローレツと語学の天才、司馬凌海から衛生行政を学ぶなかで、後藤は、「人体を治療する医者であるより、むしろ国家を治療する医者でありたい」という希望を持つようになりました。

内務省衛生局に進んだ後藤は、のちに衛生局長、臨時陸軍検疫部事務官長、台湾總督府民生長官、南満州鉄道総裁、逓信大臣、鉄道院総裁、内務大臣、外務大臣、東京市長、ボーイスカウト日本連盟総裁、帝都復興院総裁、東京放送局総裁等を歴任しました。何人もの人生を経験しているかのような後藤新平って、人生を何周しているのでしょうか。

名古屋大学附属図書館友の会Tel: 052-789-3684
E-mail: libtomo@t.mail.nagoya-u.ac.jp
名古屋大学附属図書館 後援
<https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/about/tomonokai/>

